

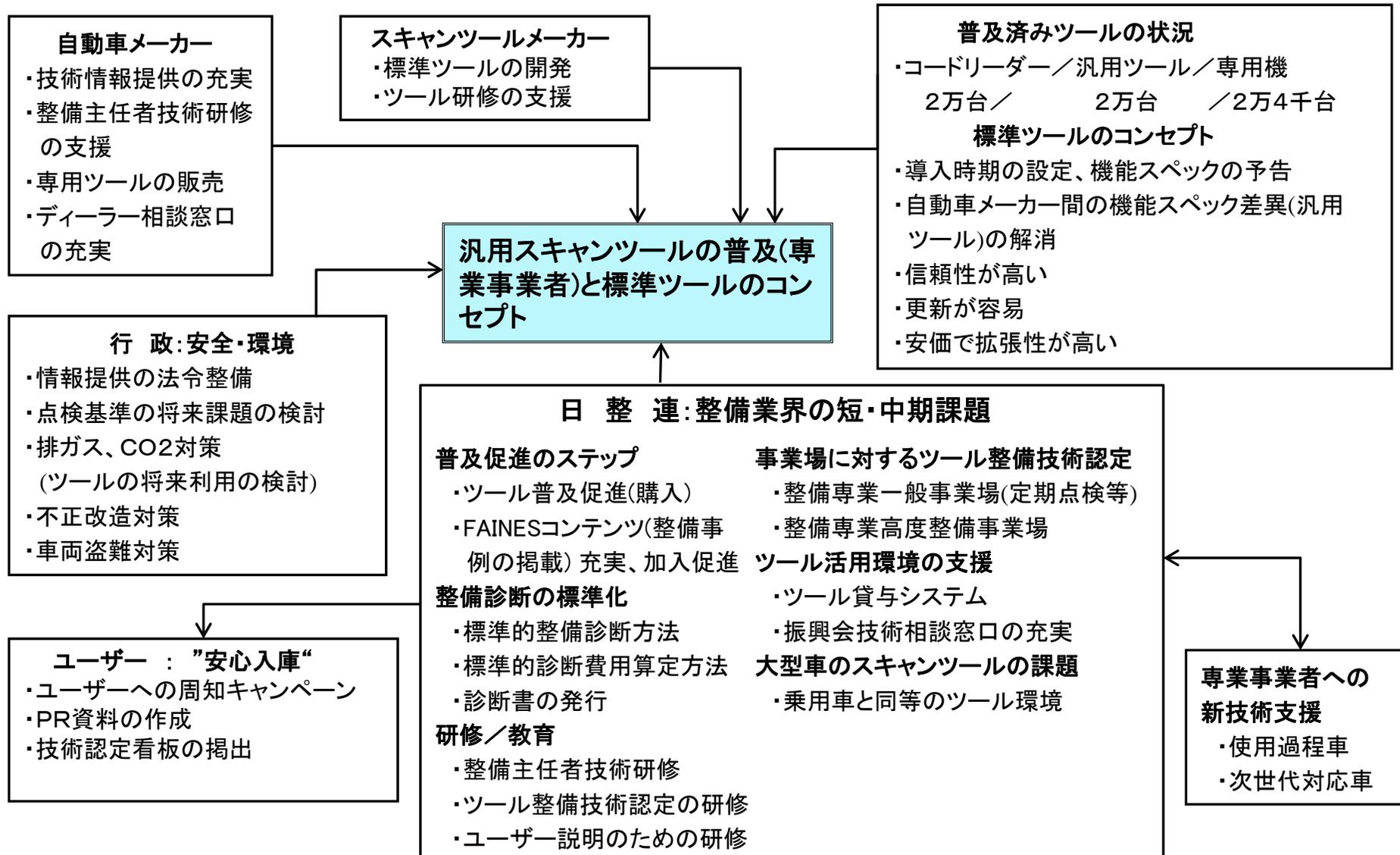
2010.7.30

日 整 連

## 汎用スキャンツール普及検討会における取組の課題等

1. 普及検討会における取組の概要
2. 整備業界の現状
3. スキャンツールの普及・活用状況
4. ツールの普及に係る国、自動車メーカー、機器メーカーへの期待と整備業界の今後の課題
5. 汎用ツールの普及促進分科会におけるツールの普及に向けての検討すべき事項

# 1. 普及検討会における取組の概要



## 2. 整備業界の現状

(1)保有台数 全台数78,800千台,40,799千台(登録乗用車),17,480千台(軽乗用車)

○登録車 全台数50,629千台,乗用車内訳J-OBD-Ⅱ車8%,10年超車40%,13年超車22%

○軽自動車 全台数26,650千台,乗用車内訳J-OBD-Ⅱ車15%,10年超車36%,12年超車25%

(2)企業数 72,861 事業場数91,281

・総従業員数⇒564,058

①専門事業場(専・兼業)

○事業場数⇒71,387 総従業員数⇒362,047

○整備要員数262,505(平均年齢46.4歳)

※事業場規模別整備要員数

A1(2~3人)⇒116,887:45% A2(4~10人)⇒118,513:45%

B(11~20人)⇒19,395:7% C(21~30人)⇒5,151:2%

D(31人以上)⇒2,559:1%

②ディーラー事業場

○事業場数⇒16,143 総従業員数⇒167,418

○整備要員数⇒114,505(平均年齢32.4歳)

(3)総整備売上高

・総整備売上高⇒54,671億(前年比94.7%)

①専門事業場⇒26,303億(36,845千円/事業場)

②ディーラー事業場⇒26,140億(161,931千円/事業場)

引用資料

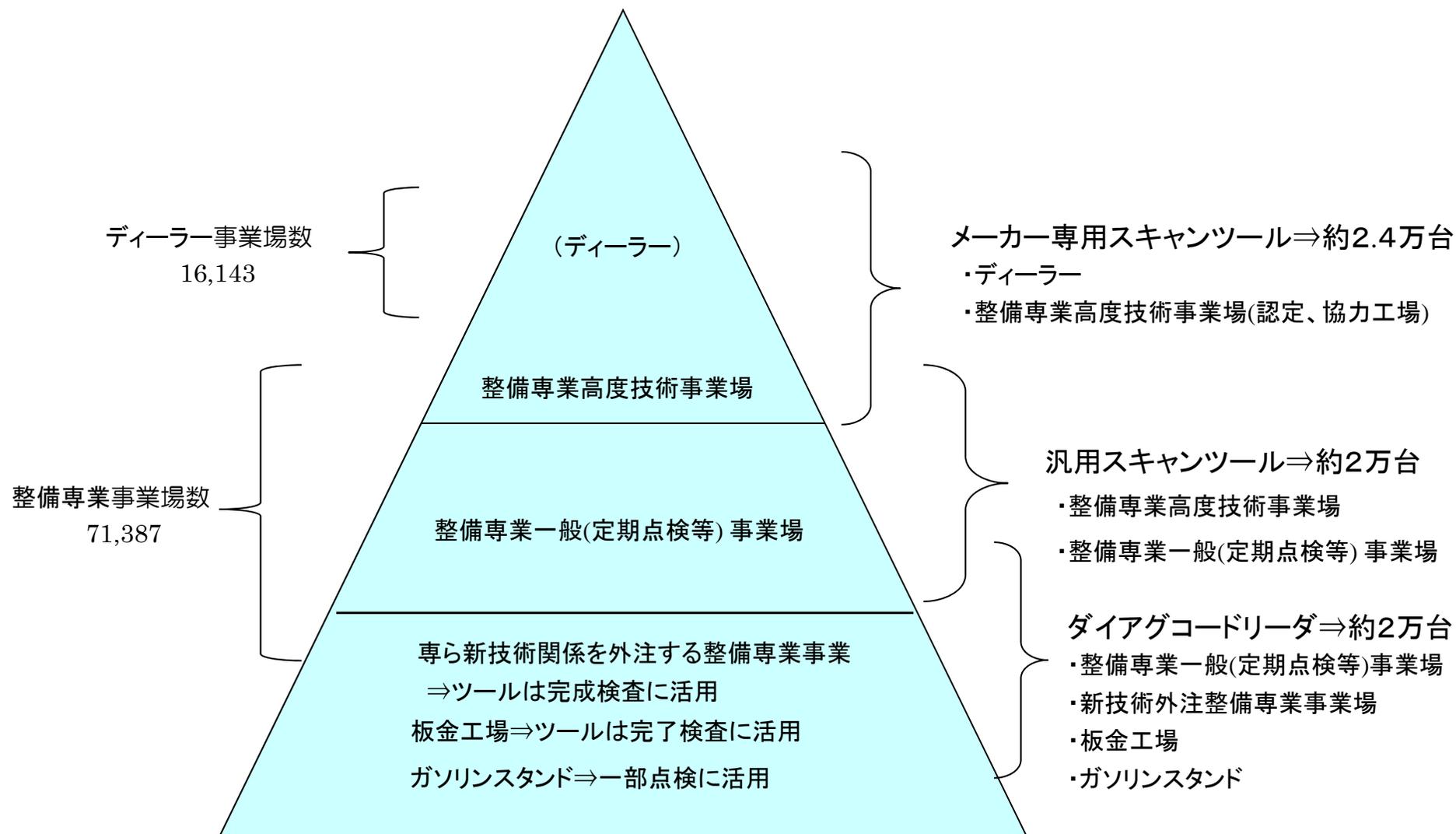
・自検協自動車保有車両数(21年3月末)

・軽自動車検査協会調べ(21年3月末)

(軽自動車内訳日整連調べ)

・平成21年度自動車分解整備業実態調査  
結果(21年6月末)

### 3. スキャンツールの普及・活用状況



## 4. ツールの普及に係る国、自動車メーカー、 機器メーカーへの期待と整備業界の今後の課題

### (1)国への期待

- ①整備情報提供に関する法令の整備
- ②整備の電子化等に対応した点検基準等への将来的な課題の検討

### (2)自動車メーカーへの期待

- ①整備事業者に対する整備情報提供の充実
  - ・整備情報内容⇒修理書、配線図等、使用過程車の点検留意点等
- ②整備事業者に対する技術教育への協力(整備主任者技術指導員研修)
- ③整備事業者に対する技術相談窓口の充実

### (3)機器メーカーへの期待

- ①整備事業者に対する汎用の安価で拡張機能を有する標準化ツールの開発
- ②整備事業者に対するスキャンツール教育への協力(事業者認定研修)

#### (4)整備業界(整備振興会)の課題

##### ①整備事業者に対する整備情報の提供(インターネット情報サイト FAINESのコンテンツ充実)

##### ②標準的整備診断方法の提供等

- ・汎用(標準)ツールによる標準的整備診断方法
- ・整備診断費用の算定方法
- ・整備診断書(診断レポート)

##### ③新技術等の人材教育

- ・整備主任者技術研修教育(自動車メーカーの協力)
- ・一般整備(定期点検等)に関するツール整備技術認定教育(機器メーカーの協力)
- ・高度整備診断に関するツール整備技術認定教育(機器メーカーの協力)
- ・新技術等の自動車ユーザーに対する整備診断内容の説明方法等の教育

##### ④整備専門事業者に対するツール整備技術認定等の提供(診断技術修得の証し)

- ・一般整備(定期点検等)に関するツール整備技術認定
- ・高度整備診断に関するツール整備技術認定

##### ⑤ツール活用環境の支援

- ・ツール貸与システムの検討
- ・振興会技術相談窓口の充実

## 5. 汎用ツールの普及促進分科会における ツールの普及に向けての検討すべき事項

### (1)標準的整備診断方法の提供等の考え方の整理

- ・汎用(標準)ツールによる標準的整備診断方法
- ・整備診断費用の算定方法
- ・整備診断書(診断レポート)

### (2)新技術等の人材教育のあり方の検討

- ・整備主任者技術研修教育
- ・一般整備(定期点検等)に関するツール整備技術認定教育
- ・高度整備診断に関するツール整備技術認定教育
- ・新技術等の自動車ユーザーに対する整備診断内容の説明方法等の教育

### (3)整備専門事業者に対するツール技術認定等のあり方の検討

- ・一般整備(定期点検等)に関するツール整備技術認定
- ・高度整備診断に関するツール整備技術認定

### (4)大型車のスキャンツールの活用に向けた課題の整理・検討

- ・大型車の整備は、電子部品等の点検・整備に係るツールの活用が進み、ツールなしの整備が難しくなっている。大型整備専門事業者より乗用車と同等のツール環境を求める切実な要望がある。

以上